

2004年08月10日発行：これは2004年に発行された資料の覆刻です。
打ち水大作戦を企画運営いただく上でのご参考として、お読みください。
当年の日程等につきましては、適宜、最新情報をご確認願います。
打ち水大作戦本部

打ち水大作戦 指南書

「打ち水大作戦」とは

今年の8月18日～25日の一週間、打ち水大作戦を行います。打ち水大作戦とは、その日、その時間、お風呂の残り湯など一度使った水を使って、表に出て打ち水をする。ただ、それだけなのです。ただそれだけのことを、より多くの人に参加をすることで風を吹かせ、気温を下げようというものです。

独立行政法人土木研究所の研究者の試算によると、都内で280万平方メートルに水を撒いた場合、都内の気温が2度下がるとのこと。ヒートアイランド現象が都市の環境問題として問題視される昨今、大まじめに「打ち水」という江戸の知恵がその有効な解決策の一つとなるかもしれません。環境問題への取り組みについて「近隣コミュニティに根ざしたアプローチ」の重要性が、昨年日本で開かれた第3回世界水フォーラムの閣僚宣言でも強調されました。東京発のこの試みは、日本の文化を活かした近隣コミュニティの再生として、世界的な発信力をもつことになるでしょう。さらに、みんなで一斉に水をまく。その行為自体が「一瞬の夏祭り」とでも呼べる楽しい情景をつくりだすことでしょう。地域であらゆる人が楽しみながら打ち水をしている、そんな情景をみなさんの“ノリ”と協力で作っていきましょう。

打ち水の目的

打ち水大作戦は、現代のヒートアイランド現象を緩和するために実施するものです。そもそも打ち水とは江戸時代より始まっていました。自分の家や店先で水を地面にまく。江戸時代は地面が砂だったので、砂ぼこりも防ぐという一石二鳥であったのでしょう。打ち水とは水を地面にまいて、気化熱で温度を下げる風流も兼ねそろえた日本の伝統なのです。

今回、各地域で行う打ち水はヒートアイランド現象の緩和だけではありません。みんなが主役の社会実験であり、みんなが楽しく参加できる新しい「夏祭り」なのです。「打ち水」をよく知っているシルバー世代から、「打ち水」という言葉さえ知らないデジタル世代まであらゆる世代が参加できます。普段あまり関わりの少ない隣近所もこの時には一緒になって「打ち水」をする。いろいろな人と「つながる」ことによって、近隣コミュニティも再生することができるのです。

打ち水大作戦決行までの道筋

打

- 地域の課題や特性に着目し、打ち水大作戦でできそうなことを考える。
例：近隣コミュニティーを再生したい。デジタル世代とシルバー世代を融合したい。
よりよい環境を目指す地域として、地域の人全体が主役となることをしたい。
商店街を活性化したい。地域の夏祭りをより盛り上げたい…など

目的の設定

水

- そのテーマをもとに打ち水大作戦を行うには、どこで、どの時期に、誰を対象に、どのような形で行うのか、そしてどのように水を確保するのか等を考え、調べ、関係あるところへ話に行き、取り組んでみる。

企画書の作成

作

- 1つの提案として打ち水イメージを作った上で、地域に関わる各主体との協力及び連携をはかる。
例：実際に動いてくれそうな町会や商店街、自治体、企業、市民団体、祭り実行委員に相談をもちかけ、実際に打ち水作戦を敢行できるようにとりかかる。

地域との調整・行動

戦

- より地域特性を出すことにより、地域独自の打ち水絵巻を作り出す。
例：打ち水砲丸選手権、秋葉原コスプレ打ち水大作戦、ドジョウつかみ大会、打ち水娘コンテスト、春の小川打ち水（打ち水で小川を作り出す）…など

地域独自の打ち水作戦へ

心得～道筋は作戦成功の1つの目安なのじゃ。

- ◇ 取り組むにあたって、自分の地域がどの段階にあるのかを確認すべし。
- ◇ 地域によって、どの段階からはじめるのかは変わることを考慮すべし。
- ◇ 1つの事例を参考にするもよし、複数の事例を参考にするもよし。
- ◇ どの段階でも、作戦決行にあたって、地域の各主体の協力・連携が必要であることを肝に銘ぜよ。

それぞれの道筋での取り組み

打

- △ 打ち水大作戦を行う上でのきっかけとなるテーマ、目的を設定します。
- △ 地域として、企業として、自治体として、研究機関としてのテーマ設定を考えました。

【地域を取り巻く要因】

内的要因：

地域で発生している問題、
地域で開催したイベント、
地域的資源、歴史的経緯

外的要因：

社会的に発生している問題
社会的に取り上げられてい
る取り組み
地球温暖化問題

【企業を取り巻く要因】

内的要因：

企業内での環境の取組み、
企業内の社会貢献活動、
企業内資源、社員教育

外的要因：

社会問題に対する企業取組
地域と連携した社会貢献
環境を取り組む企業PR
企業間を超えた連携
地球温暖化問題

【自治体を取り巻く要因】

内的要因：

地域で発生している問題、
地域で開催したイベント、
地域的資源、歴史的経緯

外的要因：

社会的に発生している問題
社会全体の実動的行動
自治体としての主体的取組
各自治体の連携による取組
地球温暖化問題

【研究機関を取り巻く要因】

内的要因：

従来の研究内の延長として
の取り組み
地域還元としての研究

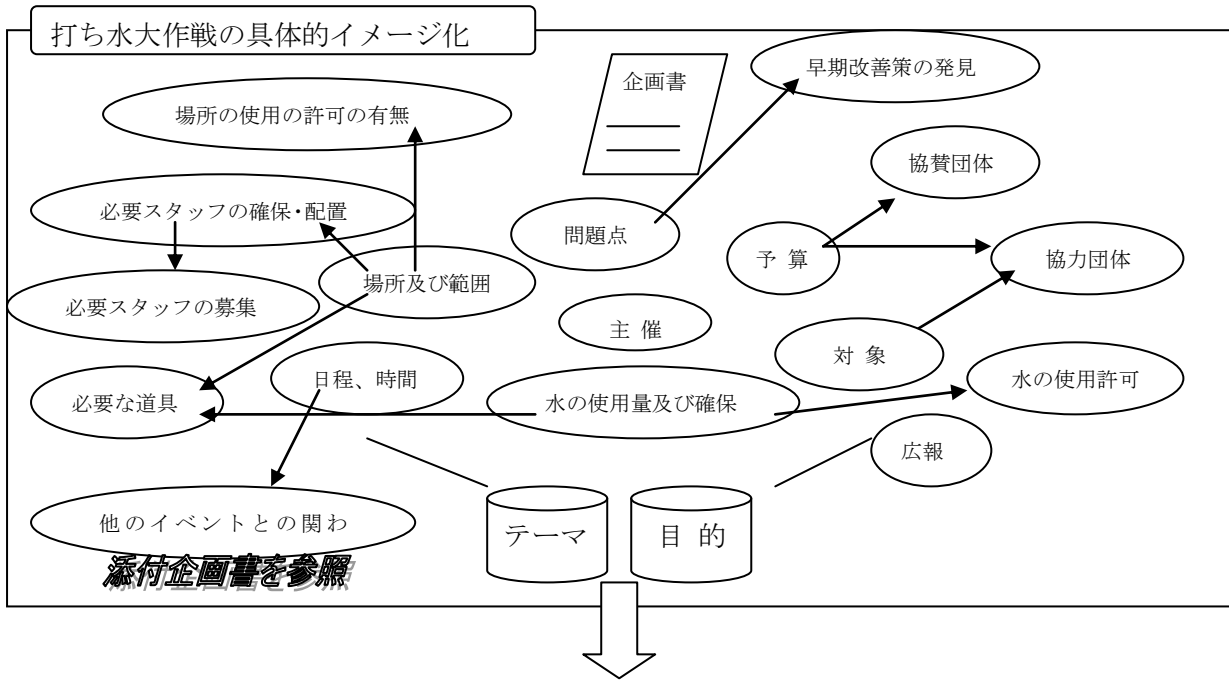
外的要因：

新しい発見への挑戦
あらゆる人が参加する壮大
な社会実験の成果への協力
様々な関係機関との協力

テーマ・目的の設定

水

- △ どのような形で打ち水大作戦を行うのかのイメージを具体化します。(企画書作成)
- △ その上で何ができて、何ができないのか、何が必要なのかを考え、調べ、取り組みます。
- △ 同時にこの大作戦への参加者を募集します。



添付企画書を参照

打ち水必要事項

(水について)

二次利用水を基本的に使用してください。

<個人、一般家庭での参加の場合>

お風呂、シャワーの残り水、エアコンの室外機から出る水、雨水、台所のすすぎの残り水、米のとぎ汁、二層式洗濯器のすすぎ水、雑巾がけのすすぎ水…

<商店街、地域、団体での参加の場合>

上記の他に、製氷機の期限切れの水、氷。井戸水(飲料水でないもの)。

浴場施設(銭湯など)の残り水、近隣の公共施設、幼稚園、保育園、学校、スポーツ施設などのプールの水など、

水のある公園(池、噴水など)の水、川の水、池の水…

<イベント会場に参加の場合>

上記の他、下水処理水、

※もちろん上記の内、使う水によっては特別な許可を得る必要がある場合があります。

(水の使用量について)

通常、参加者数×2～3ℓを使用すると考えてください。

例えば100人参加の打ち水作戦であれば、200ℓ～300ℓ(子供用プール1杯分)の水が必要です。

(必要機材について)

桶またはバケツ、洗面器、ペットボトルなど水を汲めるもの。温度計

〈イベント実施、地域などでの打ち水作戦の場合〉

水を汲み置きする子供用プールや大型バケツ、ポリタンク

日陰になる場所がない場合、テントなど日陰になる場所の確保 → 日射病予防はしっかりと！

(広報物について)

独自にチラシやポスターを使ってもよし、打ち水作戦本部で制作したポスター、チラシ、カードをつかってもよし。打ち水作戦本部制作の広報グッズをほしいと言う方は作戦本部までご一報下さい。

打ち水大作戦本部

T E L 03-5212-1663 F A X 03-5212-1649 メール asai@waterforum.jp

(スタッフについて)

打ち水大作戦成功のためにはやはり、スタッフは欠かせません。ではイベントとして行う場合、下記のようなスタッフ人材が必要です。

- ・ 責任者…現場を指揮する人。この人の指揮により全体が動いていく。
- ・ 水汲み係(複数名)…大量の水を運ぶには力仕事ができる人が必要です。
- ・ マスコミ対応…マスコミが来るような場所の場合、または来る場合、マスコミ対応係をつけた方がよいです。
- ・ 打ち水PR係(複数名)…当日、通りがかる人などに声をかけ一緒に打ち水をしてもらうPR係
- ・ 関係者との調整係…地元の町内会や自治体職員、協力企業の対応などをする場合に必要です。
- ・ 救護係(複数名)…万が一急病者が出た場合対応できる人が必要です。
- ・ 監視・誘導係(複数名)…事故などを未然に防ぐための監視、及び打ち水実施場所などへの誘導係
- ・ その他動ける人間(複数名)…担当を持たずどのようなときにもすぐ動ける人は必要です。
- ・ 資材運搬係(複数名)…テントや机、椅子その他必要備品を運ぶ人
- ・ 当日手伝いに来てくれた人、当日スタッフの管理…当日スタッフや参加者の対応係

(スタッフ募集について)

スタッフを集めることは意外と大変な作業になります。ビラなどで呼びかけるのも効果的でしょう。スタッフ募集を行った際のビラ原稿を添付しますので、ご参考下さい。

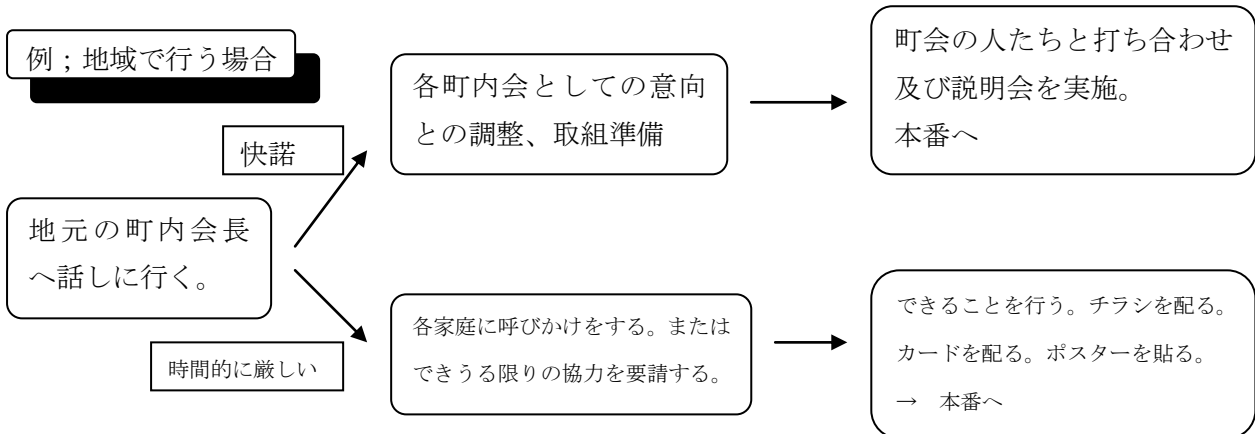
(その他)

昨年の実施様子が書かれたガイドブックが事務局にありますので、必要であればご請求下さい。

作

- △ 具体化したイメージを元に、実現へ向けての行動を行う。
- △ 同時に広報活動及びスタッフ募集を行う。
- △ 必要な道具の確保、使用量分の水の確保を行う。

実現へ向けての行動パターン



※ チラシ、カード、ポスターについては希望があれば事務局から発送します。
(送料はご負担下さい。)

広報活動・スタッフ募集

広報活動について

広報としては…テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、地域紙、HP、直接の呼びかけなどがあります。

マスコミについて → ご自身ができることを行ってください。

(プレスリリース、ローカルテレビへのお願いなど)

地域マスコミについて→お住まいの自治体広報課に問い合わせるもよし。自分のできることを！

HPについて →ご自身でお作りになりましたら打ち水作戦事務局までご一報下さい。

リンクや、HPでのご紹介などができる場合があります。

直接呼びかけについて→お近くの商店、レストランにカードなどを置かせてもらうなど直接の呼びかけは意外に効果があります。駅については空いている場所に貼ってもらうようお願いできるかもしれません。地域の回覧板や掲示版(町会や自治体広報課へお願いする)を利用させてもらうこともいいですね。

スタッフ募集について

これもチラシなどをご自身で作製、直接呼びかけられるのが最も効果があると思います。もちろん新聞などへの掲載や、地域紙に取り上げてもらうことも効果があります。またメールやメーリングリストをお持ちであれば、それを利用することも1つの方法です。参考としてスタッフ募集のチラシを添付してありますので、ご参照下さい。ある程度のスタッフを募集しましたら、全員で顔合わせを事前に行うことは大事でしょう。

必要な道具の確保・水の確保

場所が決まったら、あとはどのように必要な道具を確保するのか、水を確保するのかということが必要になります。企画書の段階でどのような水や道具を確保するのかを決めていると思います。実際にその水が使えるのかどうか、どのように、そしてどれくらいの水を運搬するのかについて考えなくてはなりません。

井戸水にせよ、銭湯のお湯にせよ、プールの水にせよ、事前に所有者に協力を依頼する必要があります。水を有効利用して、環境にやさしい活動に使用するとあれば積極的に協力をしてくれるでしょう。どれくらい水が必要かについて、先ほど一人2〜3ℓと明記しましたが、どれくらい参加をするのかわからないケースが多いと思います。その場合、1mに1ℓを目安として考えてください。

次に水の運搬ですが、この運搬は確保と同様に大きなポイントになります。お奨めはポリタンクを購入することです。ポリタンクは通常20ℓくらいですので、持ち運ぶのにちょうどよい大きさです。また、水を貯めるには子供用プールなどがあればお奨めです。口が大きいので誰でもが気軽に水を汲むことができるためです。

また道具についてですが、やはり「打ち水大作戦」。風流のある格好で木桶などを使いながら打ち水をしていたら、いい風情になること間違いなしです。なので、そういう風流な木桶などをお奨めします。しかし通常このような木桶はありませんので、バケツでも、洗面器でもかまいません。この道具の数は想定人数の半分以上あれば適切でしょう。

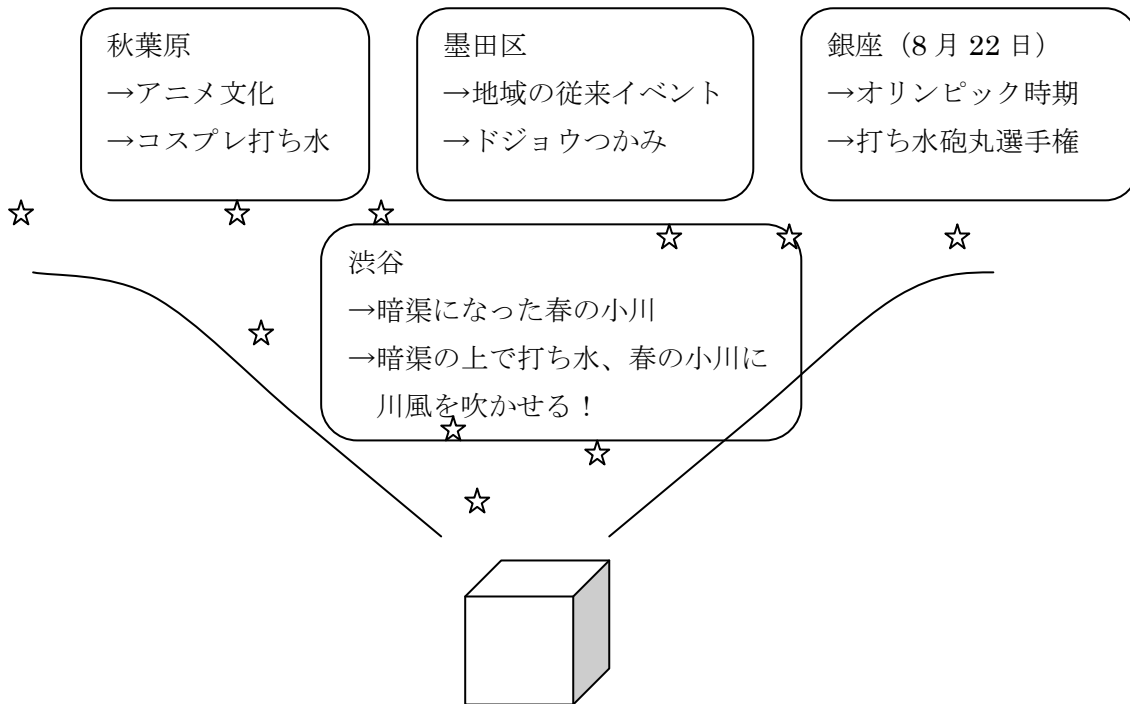
タイムスケジュールについて

タイムスケジュールについては、しっかり余裕を見たほうがいいです。例えば12時に打ち水大作戦開始といえども、水の準備、周りの人へのPRなど一斉の打ち水開始までに行う準備はたくさんあります。また、どのように一斉に打ち水を行うのかということでカウントダウンをするなどの工夫を考えて、開始までの参加者の気運を盛り上げることは非常に大切なことです。

戦

- △ 自分の街の文化や、イメージしやすいもの、全国に誇れるものを活かしてPRする。
- △ 参加者がより参加しやすい、そして参加して楽しくなることを考える。
- △ 打ち水大作戦を軸としながら、より付加的な意味を付け加える。

上記の3点を活かせるものを自分達で探そう！



There is a will, there is a way.

打ち水当日の温度測定の方法

打ち水をする前後で、気温や暑さがどう変わったかを調べます。

水をまく前と後に2回ずつ、打ち水の範囲のふち（風下側）で、地面からの高さ1.5mくらいの位置で気温を計ってください。

※気温測定に参加される皆さんへのお願い…

気温測定記録用紙を後日（なるべく早めに）アップロードしますので、気温測定された方は記録用紙にお書きの上、事務局までお送り下さい。よろしくお願いいたします。

<打ち水をするときに用意するもの>

- ・ 二次利用水
- ・ 桶 or バケツ or 洗面器 or お鍋など



←打ち水セット(大人)

<あったらいいもの>

- ・ 柄杓(ひしゃく)
- ・ 手ぬぐい



←打ち水セット(子ども)

<あったら粋なもの>

- ・ ゆかた



← ゆかたでばっちり

<気温を測定するときに用意するもの>

- ・気温測定セット

市販の温度計(棒温度計)／ 筆記用具／うちわ

<あったらいいもの>

- ・手ぬぐい、日傘や帽子など日よけ

<打ち水前の気温をはかりましょう>

温度計に直接日光があたらないようにし（日傘などを利用）、うちわを使って温度計下端部に風を送りします（日光や照り返しの影響を小さくするためです）。

水をまく前の、気温をはかるため、温度計の目盛りをよみます。温度計の目盛りの10分の1度（0.1度）までよみとって記録してください。

※よみとるときは棒温度計を地面と垂直にして、眼の位置を温度計内の液面の高さと同じにしてください。

※写真では日よけを利用してませんね。当日は日射病の恐れもあるので日傘などを用意しましょう。



打ち水セットと水気温測定セット



何人かで仲良く協力するといいです。

<水の量をはかりましょう>

当日、残り水をペットボトルでお風呂からバケツ等の入れ物に移します。まく水の量は、おひとり2リットル以上、なんリットルでもOKです。ペットボトル何本分か、つかった水の量を記録しましょう。



ペットボトル3本分、6リットルが一応、目安



↑容器に移します

<打ち水をしましょう>

さあ、打ち水をしましょう。全体的に地面の色が変わるように水をまいてください。

(1㎡に1ℓを目安に水をまいてください。)



地面に水の模様をつくりましよう

<打ち水後の気温をはかりましょう>

温度計に直接日光があたらないようにし(日傘などを利用)、うちわを使って温度計下端部に風を送りします(日光や照り返しの影響を小さくするためです)。

2分ほどそれを続けたあと、温度計の目盛りをよみます。温度計の目盛りの10分の1度(0.1度)までよみとってください。

※よみとるときは棒温度計を地面と垂直にして、眼の位置を温度計内の液面の高さと同じにしてください。

※この写真でも日よけを利用してませんね。当日は日射病の恐れもあるので日傘などを用意しましょう。



温度はさがったかな?

打ち水の記録について

打ち水大作戦を実施するにあたり、つい忘れがちになってしまうもの、それはカメラです。

打ち水シーンは、美しい光景を作り出すことでしょう。打ち水本部では、打ち水のシーンで映し出されたその光景を大切にするため、今年は打ち水フォトコンテストを開催します。打ち水で撮った写真をぜひ本部へ送ってくださいね。詳しくはホームページをご覧ください。